旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２２年４月２４日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

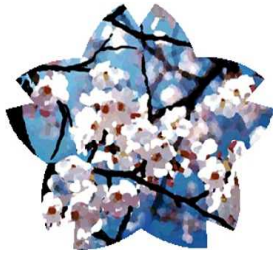
黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌４０２「丘にたてる」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美		一　同
教会学校	「あくる日のちいロバ」	牧　師
讃　　美	聖歌１５０「わが目を開きて」	一　同
聖書朗読	ヨブ８：１－７	
奨　　励	ヨブ記の福音(第５回)	牧　師
主　　題	**「神を信じ待ち望もう」**	
讃　　美	聖歌４８０「悲しみ尽きざる」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌３７６「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**ヨブ記第１１－１４章**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
4/24(日)聖日礼拝
/25(月)
/26(火)
/27(水)13-16:OBSｸﾗｽ
/28(木)10:00祈り会
/29(金)昭和の日
/30(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ



《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

参考資料

「キリスト教は救われない宗教？」

創価学会教学部編「折伏教典」（東京：創価学会,1967）

第八章　外道および民間信仰の実体　2.キリスト教

①あるクリスチャンが苦しい病床でつづった手紙の中に「幸福なるかな苦しむ者、その人はキリストに十字架の愛を深く知らさるればなり」という一句がある。この女性は、キリストが人間のために十字架の苦しみをしたのだから、自分もどんな苦しみにも黙って耐えて服従していこう、これが救いだというのである。しかし、考えると、これはずいぶん無茶な話で、キリストが死んだからといって現実の苦しみは少しも減っていない。したがって、キリスト教では、よく信仰が深まれば死に直面しても驚かないとか、不安に耐えうるとかいっているが、それはすべてあきらめの結果である。逆に消極的な二重人格者ができあがるといわれるのも、もっともな話であろう。

②…そこで、キリスト教の説くところを、仏法と二、三くらべてみよう。まず、キリスト教は、唯一絶対神がすべてをつくったと説く。そして神とは、全知全能、完全であり、愛であり、善であり等々といっているが、だいたいその神の実体、存在の因果などはまったく明かされていない。もし、本当に完全な神が人間をつくったとすると、生まれながらの不平等や、一生、不幸の宿命に泣く人々の存在など、いったいどう説明しようとするのであろうか。三世にわたって**生命の因果**を説き明かした仏法とくらべて、キリスト教の生命観は、じつに低劣なのである。

③キリスト教は罪を重大視する。人間の不幸の原因は原罪（アダムとイブが堕落した罪）によるとして、人はみな生まれながらに罪人だと決定し、それに世間法も国法もみな罪の範囲に入れて、それを消すために告白というかたちのざんげをさせる。しかし、すべての罪・不幸は、妙法蓮華経の**宇宙の法則**に反した、すなわち謗法(ほうぼう)を因として起こっているものである。みずからがつくってきたものである以上、かならず自分でうけて消していかなければならないのが、公平な**因果の法則**で、単なる告白や、他人を愛したり許したりすることで罪が消える道理はなりたたない。ただ正法を信じた功徳だけが、その罪を軽くすることができるのである。

④…さらに、宗教の究極である生命に関して、キリスト教では、まったくお話しにならない教義をたてている。まず、紀元前四年に誕生したキリストの母は、処女マリア、父は神であったという。そして三十歳ではりつけになったキリストは、三日目に復活し、一ヶ月後には昇天したとしている。単なる**科学の常識**から考えても、まことにバカらしい話であるが、キリスト教では、これをそのまま信じている人もあれば、宗教上の一表現として、合理化した解釈をたてたりしている。しかし、どんな理屈をつけようと、宗教の教義は**万人の納得する普遍妥当性のある哲学**でなくてはならない。

⑤仏法は生命とは何か、死後はどうなるか、現在の幸、不幸は何によって決まったのか。こうしたあらゆる生命の状態を、因果から説き明かし、そのうえで現在の宿命を打開し未来の宿命を開いていこうとするものである。どちらが正しく、どちらが**科学的**であろうか。まして、キリスト教の天国など、仏教にあてはめると、**方便権教**の念仏でいう西方浄土の架空のたとえ話にすぎない。死んでから行く天国など、全くの作り話である。